

<研究名称>

利尿剤抵抗性の腹水患者における集学的治療の現状に関する多施設共同研究

<研究申請者>

消化器内科 長谷部 千登美

<研究期間>

倫理委員会承認日から 2023 年 12 月 31 日

<研究の目的・意義>

利尿剤抵抗性の腹水穿刺排液が必要な有腹水肝硬変患者に対して、大量腹水穿刺排液及び CART のそれぞれの効果ならびに肝機能、腎機能への影響を検討する。また腹水穿刺排液及び CART がどの程度の割合で行われているのかを把握する。また、トルバプタンの継続または中止で比較したときにそれぞれ穿刺排液の量や、肝機能、腎機能に与える影響を比較する。

<実施責任者・実施に関わる者の氏名>

責任者 消化器内科 副院長 長谷部 千登美

実施にかかわる者 消化器内科 副部長 阿部 真美

消化器内科 医師 相馬 学

<実施場所、対象患者等>

フロセミド 80mg 以下かつ、またはスピロノラクトン 100mg 以下にて腹水コントロールができず、トルバプタンを導入するも体重が減少せず、静注の利尿剤に変更するも無効で腹水穿刺排液が必要な有腹水肝硬変患者。

<倫理上問題になると考えられる事項、その他特記事項>

なし

<IC のための説明・同意に関すること>

説明書・同意書あり

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号

旭川赤十字病院 消化器内科 長谷部 千登美

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648